

「ベッド満床」について ③

- しかしながら、
 - ・ 救命救急センターのベッドの稼働率に、繁閑の差があり常に変動している。
 - ・ 病床利用率が100%に近い施設も存在する
 ことを考えると、時期や時間によって、または、個々の施設によっては、物理的に「ベッドが満床」である状況が発生しているものと推定される。

- さらに、空きベッドがあるものの、
 - ・ 「患者に適した診療機器が備わったベッドがない」
 - ・ 「十分な看護体制を確保したベッドがない」
 等といった意味で「ベッド満床」として報告している場合もあると推測される。



救急医療機関が円滑に救急搬送を受け入れるには、これら「ベッドの満床」について、より詳細に実態を把握する必要がある。

救急医療機関が受入に至らなかった理由としての「ベッド満床」の理由

